

自然エネルギーの地産地消による持続可能な中山間地域づくりの実現

～日本一の森林面積から生まれる小水力発電と木質バイオマスを通じて～

提案者：高山市、阿多粕小水力発電（株）、旗鉾小水力発電（株）、飛騨高山小水力発電（株）、阿多野郷・野麦小水力発電（株）、井上小水力発電（株）、塩屋小水力発電（株）、上青屋小水力発電（株）、久手観光開発（株）、濃飛乗合自動車（株）、奥飛観光開発（株）、名古屋鉄道（株）

エリア設定

小水力発電所の立地地域を中心に**11エリア（237世帯）57施設 約1265万kWh/年分**を先行地域として設定した。

類型1：地域に由来する水の力を地域で活用する仕組みを作るため、**小水力発電立地地域の町内会**をエリアとして設定

類型2：将来的なモビリティの脱炭素も見据え、スキー場や奥飛騨温泉郷の**観光資源**や**主要観光事業者の拠点**（16施設）を設定

類型3：市内生徒や市民への普及啓発の観点から、**本庁・支所と市内小中学**（計41施設）を設定

地域課題解決に向けた取組

課題

1. 自然エネルギーの地産地消
2. 持続可能な中山間地域づくり
3. 観光産業の新たな価値づけ

主な取組

- I. 小水力発電所の新規開発
- II. 地域新電力会社（PPS）の新設
- III. 木質バイオマスチップボイラーの新設

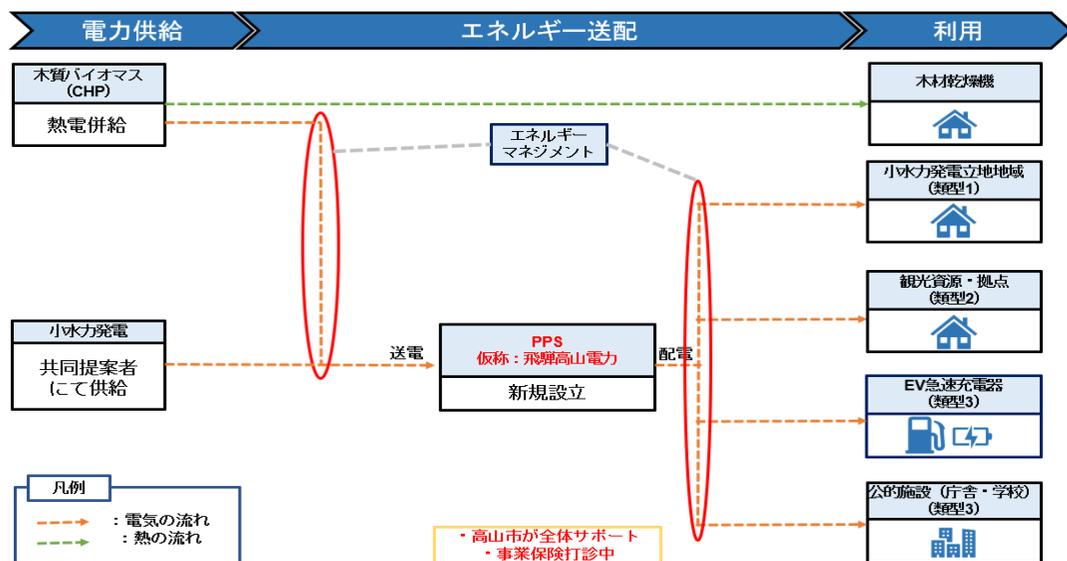
課題解決

地域住民の暮らしの向上

新規産業への期待・希望

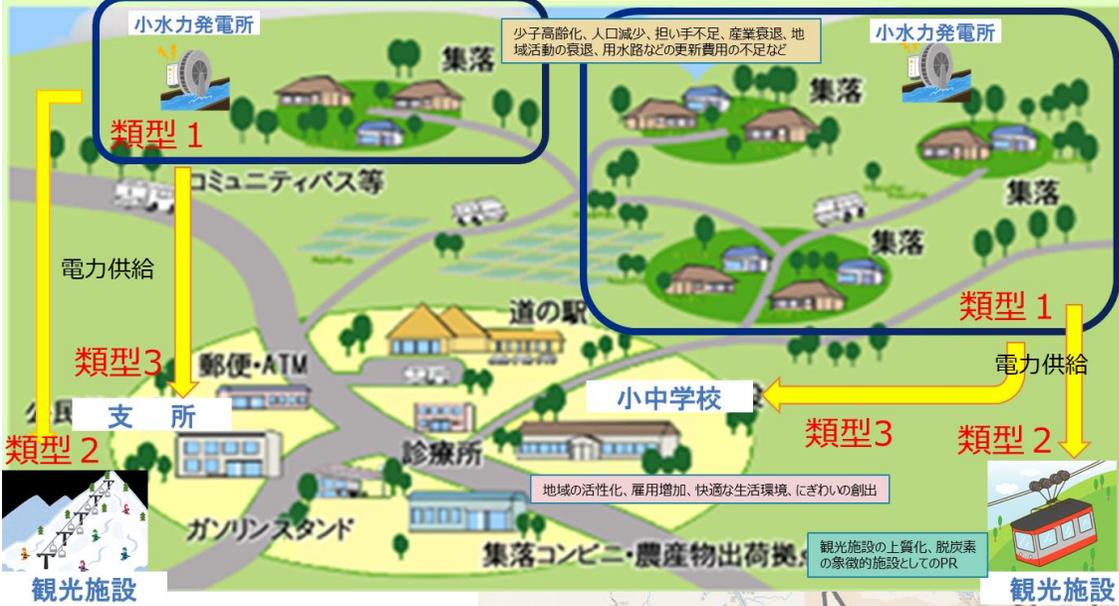
地域経済の循環

取組の全体像（イメージ）



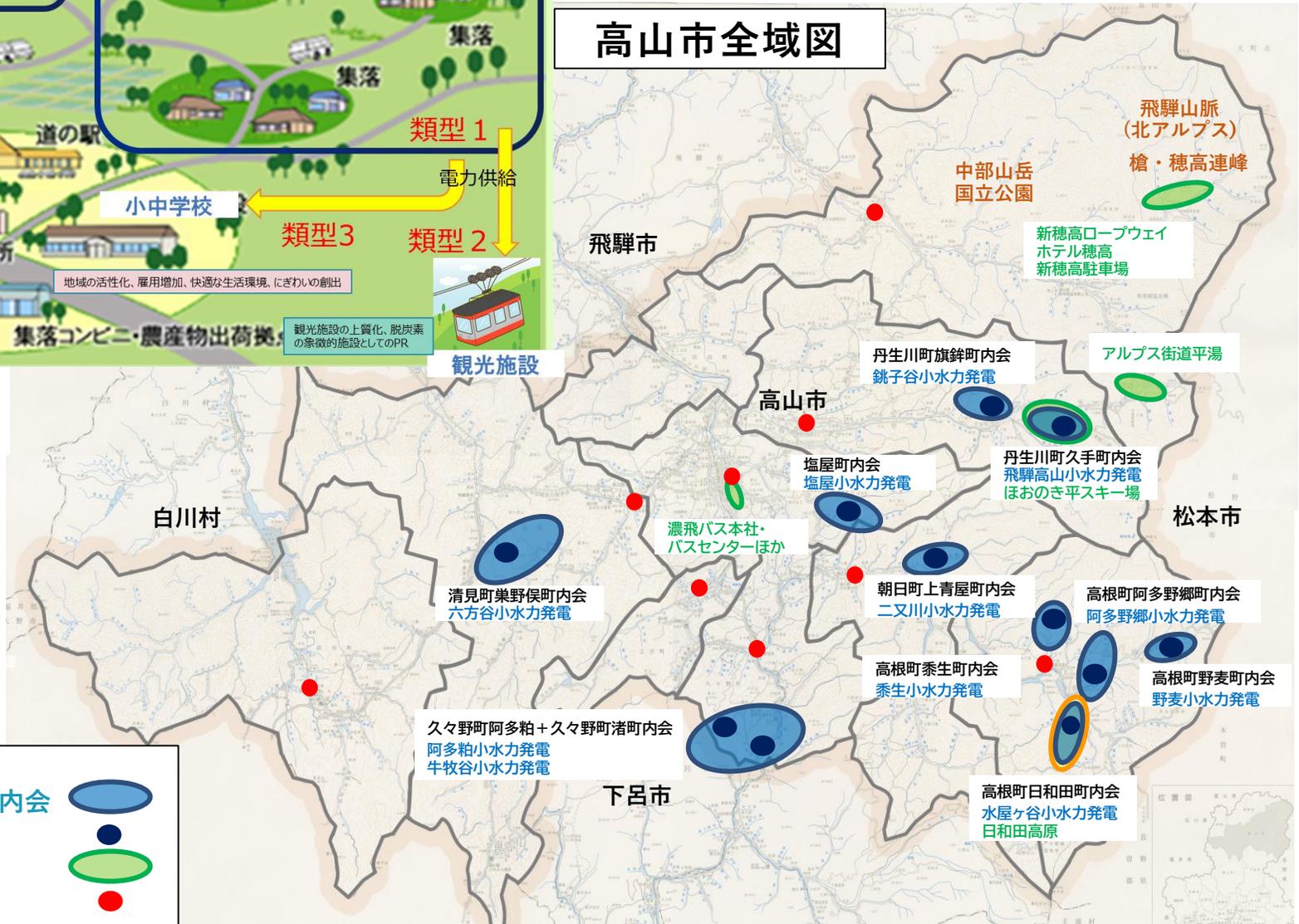
第3回脱炭素先行地域提案エリア設定（位置図）

中山間地域の地産地消拡大イメージ



小水力発電所候補地や立地町内会等の同意については、これからご相談となる地域もあることに留意

高山市全域図



- 凡例
- 類型1 小水力発電立地町内会 小水力発電所
 - 類型2 観光拠点施設
 - 類型3 本庁・支所